

後藤 内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)

提出資料

1. 「新しい資本主義」を通じた持続的な成長を可能とする経済構造

- サプライサイド強化：社会的課題解決、持続的な経済成長につながる「質の高い」投資の促進
 - 民間が主体となって質の高い投資を行うことが原則
 - 政府は、民間投資を誘発するために、予算、税制、規制改革等を適切に組み合わせた上で、企業の予見可能性を高めるため、多年度のフレームとして提示
- 2つの好循環の実現：
 - 成長の果実が賃金に分配され、セーフティネット等による暮らしの安心の下でそれが消費へとつながる「成長と分配の好循環」
 - 企業が賃金コストを価格に反映することで収益を確保し、それが更に賃金に分配されるという「賃金と物価の好循環」

「成長と分配の好循環」と「賃金と物価の好循環」を生み出す経済構造（イメージ）

